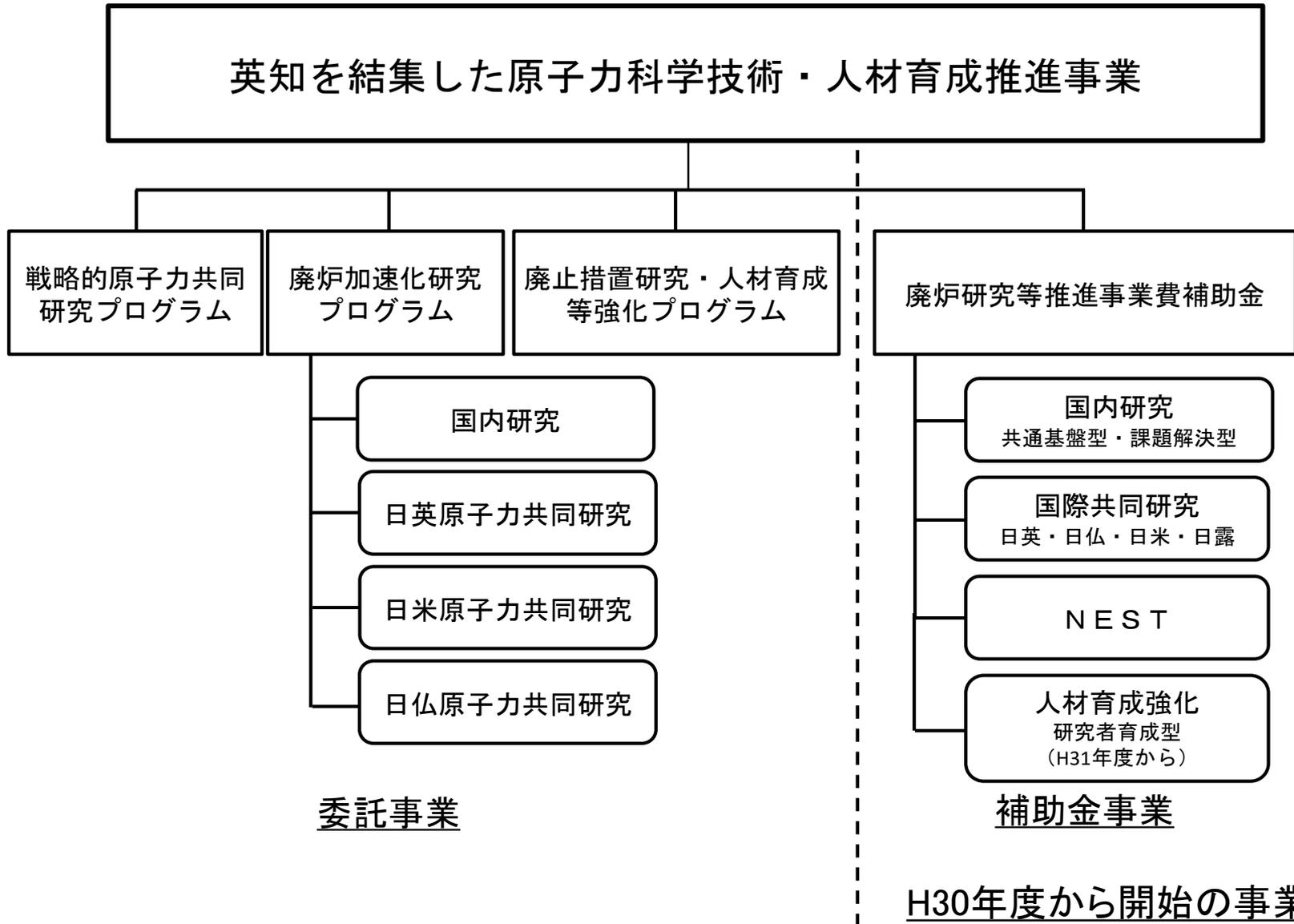


平成31年度英知事業 (CLADS補助金) について

平成31年1月21日
廃炉基盤研究プラットフォーム 第11回運営会議

廃炉国際共同研究センター
研究推進室



【目的】 クロスポイントメント制度等を積極的に活用した人材流動化を図ることにより、旧来の原子力・廃炉分野に閉じない幅広い分野から必要な人材を求め、JAEA/CLADSと大学等の教育研究機関、民間企業の三者が密に連携した「産学官連携ラボラトリ(以下「連携ラボ」という。)」を形成する。連携ラボに結集する多様な研究者等による1F廃炉に関する実践的な研究を通じて、将来の1F廃炉を支える研究人材層と多様な英知を結集した1F廃炉研究体制を構築することを目的とする。

- ・事業規模:5年以内、採択予算:6,000万円/年
- ・委託研究とJAEAで研究することにより研究者を育成
- ・企業との連携を義務化して研究の実用性高める

